



京都大学 大学院 総合生存学館

**思修館**

平成30年度

京都大学 大学院 総合生存学館（思修館）

（学内特別選抜）

# 学 生 募 集 要 項



**京都大学**

KYOTO UNIVERSITY

## 京都大学大学院総合生存学館（思修館\*）

私たちが生きる地球社会は、今、数々の複合的・構造的な諸問題に直面しています。これらは、文化・産業・経済・国家などの複雑で巨大なシステムに関わる、種々多様でグローバルな課題であり、解決のためには持続可能で創発力のある社会システムが不可欠です。そして、この新たな社会システム構築に向けてリーダーシップを発揮できる人材、ゼロから1を生み出し、実践・持続させていける力を持つ人材の育成が、今、強く求められています。

「総合生存学館」（通称：思修館）は、こうした社会の要請に応え、未来のリーダー育成を目的として平成25年4月に新しく設置した大学院です。

### 思修館の概要

思修館における教育・研究の基盤となるのは、「総合生存学」という学問です。私たちが直面している課題はいずれも、個人、地域社会、産業システム、社会システム、さらには国家や世界全体が共存するために、そして持続可能な未来を創り出すために、必ず乗り越えなければならない重要かつ複合的な社会課題です。従って、こうした課題を克服するための思想・政策や方法を幅広く探求する学問が必要となります。「総合生存学」とは、「人類と地球社会の生存」を基軸に、関係する諸々の学問体系の「知」を結び付け、編み直し、駆使して、複合的な社会課題の発掘・分析と定式化・構造化を行い、社会実装までの解決を探求する学問の総体であり、「生存知の構造化と公共化」を対象とする総合学術です。

多様な「知」を結集し、実践に応用するためには、いかに智慧を発揮できるかが鍵となります。日本の伝統的な考え方によれば、智慧は、多くの知識や情報を集める「聞」と、様々な知見に基づく創造的「思」をもとに、これらを有効に使い、実践することによって身につく「修」から構成されています。

思修館は、その名前の由来となった、この「聞思修」の考え方にもとづき、生存学を基礎に総合力を結集し、文理融合・異分野融合による知識と、それらを実践的に社会実装できる思考力と実践力を育成していきます。具体的には、国家及び世界と人類を脅かす環境・エネルギー問題、食料・人口問題及びパンデミックなどの地球規模課題や、将来の生命・環境・社会・産業・国家・文明などの生存に関する諸課題の解決を先導できる、柔軟かつ論理的な思考力と堅固な意志力に富んだ人材の輩出をめざします。

さらに、課題解決の方法論、及びその教育方法を確立することにより、山積する諸課題を抱える21世紀地球社会の多元的な調和と新たな発展に向けて挑戦を続けていきます。

### 思修館の目的と意義

思修館では、幅広い領域にわたる「総合生存学」を確立し、それを修得したグローバルリーダーを育成することを目的としています。この点が、特定分野の研究者育成・専門職人材育成を第一の目的とする、既存の研究科との大きな違いでもあります。

人類社会の生存と未来開拓を担う各界の世界的リーダーには、多様な価値観、広い世界観と見識、確かな哲学と高い志、それらに基づく柔軟な思考が求められます。思修館では、こうした素養を養うために、専門的知識に加え、総合的な文理融合能力及び俯瞰力を培い、複合的社会課題の解決方法を研究し実践する能力を養成します。さらに、こうした人材を輩出することで、「教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する人材を育成する」京都大学の基本理念を体現していきます。

また、思修館では、異なる分野出身の学生が24時間起居を共にして互いに啓発、切磋琢磨できる環境が重要であるとの考えから、合宿型研修施設を用意しています。このことも、日本では全く新しい試みとして大いに注目されています。

### アドミッションポリシー

総合生存学館は、次のような能力、適性、意欲を有する者を求めます。

1. 解決のために取り組む研究課題を設定できる能力ならびに、研究をやり遂げる意志・能力及び研究を実施するに必要な基礎的能力を有していること。
2. 世界的な社会課題を解決する強い興味と関心を持ち、自らの将来を計画し、決断、実行する力を有しているとともに、社会において多様な価値・システムを創造するようなグローバルリーダーを目指す意欲を有していること。
3. グローバルに活躍するための基礎となる語学力・コミュニケーション能力を有していること。

### 育成する人材像

思修館では、生存学における課題解決情報を、机上ではなくその問題が起きている現場に即して創出し、的確に判断・行動できる高度な専門的能力を身につけた人材の育成をめざしています。

そのために、大学学部などで身につけた学術に関する知識をベースに、文理にわたる幅広い専門的学識を積み重ねることで、多様な専門分野を俯瞰する力を培います。また、複数教員の指導と助言のもとで研究基礎力を養い、さらに国内外の社会実践で得られた経験知をモデル化して修得していきます。

また、顕在化している個々の問題解決にあたるだけでなく、人類や社会システム、地球社会などにおける今日的な問題の本質を理解して、生存学に関わる一体的な世界観・人間力・社会力をもとに自ら課題を設定し、その解決への営みを通じて、グローバルリーダーとなる人材を育成します。

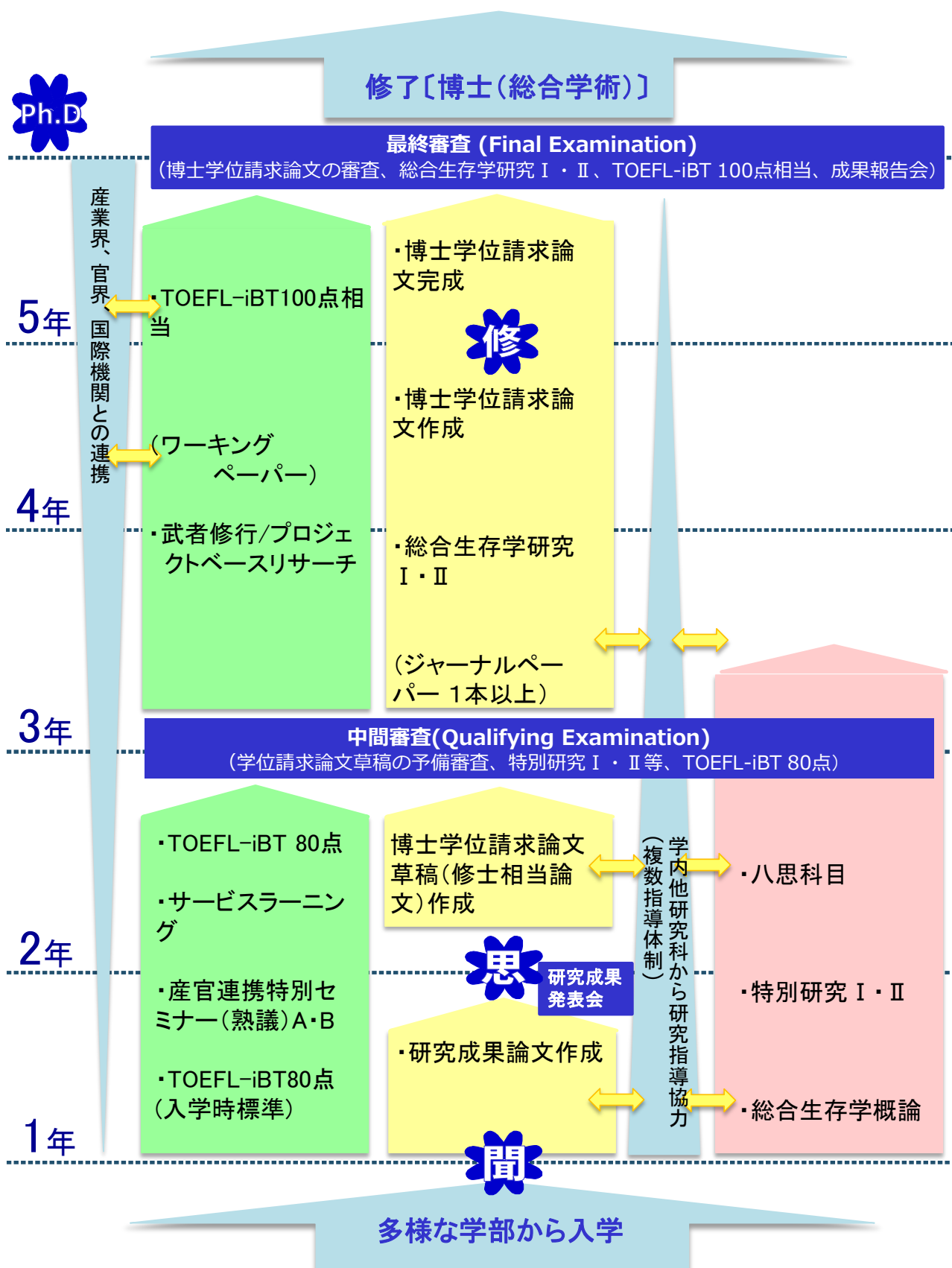
## 世界で活躍するリーダーの育成

国際機関やグローバル企業への就職を考えている人に思修館が応えます。



## カリキュラム構成

国際標準の知識と経験に基づく実践力と志を育む、5年間の総合一貫プログラム



## カリキュラムの特徴

### 特徴1. テーラーメイド型カリキュラム

受け入れる学生の学問背景や基礎的な専門研究分野が異なり、さらに特別研究における研究課題の専門性が学生間で異なることから、学生一人一人に応じたカリキュラム設計を行います。経験豊かな複数の教授陣の助言を受けながら、5年間の学修計画及び必要な履修科目について、系統的かつ経時的に検討を行います。他研究科が開講する専門科目も履修できるよう配慮します。

### 特徴2. 研修施設の利用による対話とディベートによる教育カリキュラムの整備

教員と学生間、学生同士による専門的な課題に関する討論や設定された多様な課題解決に関する討論の場を設け、教員のみならず産官の学外講師（特任教員）を加えたディベートなどによる多様な思考と実践力を育成するためのカリキュラム（産官連携科目「産官連携特別セミナー（熟議）」）を提供します。そのために、講義室／研究室に加えて、合宿可能な研修施設（合宿型研修施設）を整備し提供します。

### 特徴3. 複数指導教員制度

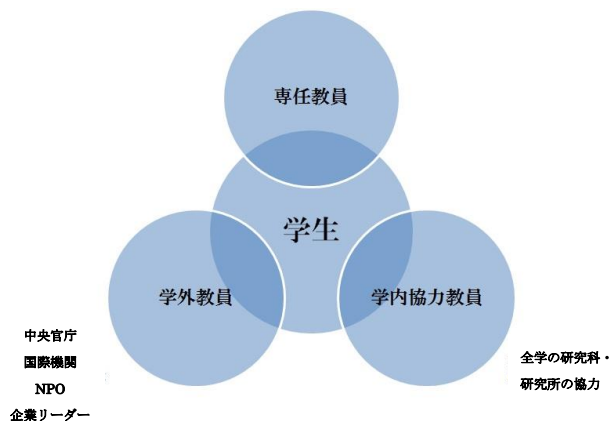
様々な分野の基礎を習得し、より広い視野から課題解決の方法論を研究することができるように、専任教員をはじめ、学内他研究科及び研究所の教員からの協力を得て、複数の指導教員体制を構築し、学生の教育研究を支えます。

## 担当教員

### 専任教員・学内協力教員・学外教員が多面的に学生を指導、サポートします

一人一人異なる学問背景と将来への志望に応じたテーラーメイド型カリキュラム、そして、学生が安心して学べるよう配慮した複数指導教員制度を実施します。

また、「総合生存学」における人材育成を行うためには、人文・社会・自然科学に関する幅広い八思科目を提供します。そのため、全学から相応しい科目とその担当教員を配置します。さらに、多様な研究領域において研究基礎力を修得できるよう希望に応じて、専任教員を含む全学の教員の中から研究指導教員を選びます。



平成 30 年度 総合生存学館科目配当表（暫定版）

科目 コード	科目名	八思分野	担当教員	開講期		単 位	配当年次	必 修	備考
				前期	後期				
	総合生存学概論	-	寶・池田・河合・櫻井・ 積山・山口・山敷・ヤル ナゾフ・磯部・金村・ 趙・デロッシュ	○		2	1・2	必	
	熟議A	-	関係教員	○		2	1・2	必	
	熟議B	-	関係教員		○	2	1・2	必	
	サービ斯拉ーニング	-	関係教員	○	○	2	1・2	必	
	特別研究	-	関係教員	○	○	8	1・2	必	
	武者修行・PBR	-	関係教員	○	○	12	3・4・5	必	
	総合生存学研究	-	関係教員	○	○	8	3・4・5	必	
	心の哲学ー比較思想と実践的活用ー	人文・哲学	デロッシュ	○		2	1・2・3		
	人類の知的遺産の保存	人文・哲学	デロッシュ		○	2	1・2・3		
	心理測定論	人文・哲学	積山	○		2	1・2・3		
	認知神経科学特論	人文・哲学	積山		○	2	1・2・3		
	国際経済学	経済・経営	ヤルナゾフ	○		2	1・2・3		
	持続可能な発展とエネルギー転換	経済・経営	ヤルナゾフ		○	2	1・2・3		
	エナジー・ファイナンス論	経済・経営	金村	○		2	1・2・3		
	リスクマネジメント論	経済・経営	金村		○	2	1・2・3		
	日本政治行政論	法律・政治	松並		○	2	1・2・3		
	グローバルコミュニケーションⅠ	語学	河合	○	○	2	1・2・3		
	グローバルコミュニケーションⅡ	語学	河合	○	○	2	1・2・3		
	数理統計学-データサイエンス1-	理工	池田	○		2	1・2・3		
	複雑系科学-データサイエンス2-	理工	池田		○	2	1・2・3		
	グローバル技術戦略論	理工	櫻井	○		2	1・2・3		
	国際資源エネルギーサイクル論	理工	櫻井		○	2	1・2・3		
	科学創成論	理工	山口	○		2	1・2・3		
	イノベーション創成論	理工	山口		○	2	1・2・3		
	科学・学術と社会のコミュニケーション	理工	磯部	○		2	1・2・3		
	宇宙学	理工	磯部		○	2	1・2・3		
	基礎生物学	医薬・生命	戸部	○		2	1・2・3		
	生物進化論	医薬・生命	戸部		○	2	1・2・3		
	環境防災生存学特論	情報・環境	山敷・寶・矢守	○		2	1・2・3		
	水惑星地球	情報・環境	山敷		○	2	1・2・3		
	オペレーションズリサーチ概論	情報・環境	趙	○		2	1・2・3		
	最適化特論	情報・環境	趙		○	2	1・2・3		
	日本文化論	芸術	定金、渡邊	○		2	1・2・3		日本語
	文化実習Ⅰ(茶道)	芸術	倉斗・関根	○		1	1・2・3		日本語
	文化実習Ⅱ(華道)	芸術	芦田・西阪・大津・ 中野・松本・桑原		○	1	1・2・3		日本語
	文化実習Ⅲ(書道)	芸術	中村		○	1	1・2・3		日本語

この他八思分野（法律・政治）については科目の追加を検討しています。

現時点での暫定版ですので変更する可能性があります。

## QE 受験要件・課程修了要件

- ・本研究科は、一貫制博士課程であり、その標準修業年限は5年である。  
課程修了の要件は、5年以上在学して所定の単位（50単位以上）を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、博士学位請求論文の審査及び試験に合格すること。修了要件を満たせば、「博士（総合学術）」の学位を与える。この場合、合わせて、TOEFL-iBT100点相当の語学力を有することが要求される。
- ・2年次末以降に実施される **Qualifying Examination**（以下 **QE**）に合格しなければ、必修科目の武者修行・PBRの履修及び博士論文の審査を受けることができない。  
**QE**の受験要件は、所定の単位（必修科目16単位以上及び選択科目14単位以上の合計30単位以上）を修得し、必要な研究指導を受け、合わせてTOEFL-iBT80点の語学力を有することである。

## QE 受験・課程修了に必要な単位

区分	八思分野	単位数（累計）	
		QE 受験	課程修了
必修	—	16 単位	36 単位
選択	医薬・生命	各自の専門分野を除く5分野についてそれぞれ1科目（2単位）を選んで計5科目（計10単位）を履修すること。 他研究科で提供される科目の中に履修すべき科目があれば、それで代用できる場合がある。（ただし、その可否は教務委員会において審議される。）	
	情報・環境		
	理工		
	人文・哲学		
	経済・経営		
	法律・政治		
	芸術	講義1科目（2単位）又は文化実習2科目（計2単位）を履修すること。	
語学	英語 「グローバルコミュニケーションⅠ・Ⅱ」のいずれか1科目（2単位）を履修すること。		
	計	14 単位以上	
合計		30 単位以上	50 単位以上

※1 上記以外に自己の専門科目を履修することを推奨する。

### ※2 八思科目

総合生存学館では、「医薬・生命」「情報・環境」「理工」「人文・哲学」「経済・経営」「法律・政治」「語学」「芸術」の8分野（八思）にわたり、学生一人ひとりの専門分野と経歴に合わせ、原則として研究対象としている専門分野を除く7分野から、それぞれ2単位を選択し履修する必要がある。

## TOEFL- iBT

100点に達している者を除き、少なくとも年1回受験し（1年次は、入学直後に受験すること）、TOEFL-iBT Examinee Score Reportの原本（確認後、返却）を提出しなければならない。なお、スコアの提出期限は、毎年2月中旬頃とする。



## 修士の学位授与

- ・2年以上在学して研究指導を受け、所定の30単位以上及びTOEFL-iBT80点を取得し、かつ特別の事情を有し、指導教員の下承がある者は、修士論文の審査を申請することが出来る。その審査及び試験に合格する者に、「修士（総合学術）」の学位を与える。

## 学生支援

### 1. 奨学金等

授業料免除・様々な奨学金に関する情報を提供します。申請にあたっては、学館内で選考の上、所定の手続きを行います。詳しくは教務掛にお尋ねください。

### 2. 合宿型研修施設

本学館では、グローバルリーダーに求められる異文化社会におけるリーダーシップ力を育成する教育研究環境づくりを目的として、異文化及び異分野出身の学生が昼夜を分かたず切磋琢磨し交流でき、かつ本学伝統の対話型高等教育研究を実施できる合宿型研修施設を整備しています。この施設は、研究と学習に集中できる日常生活の場として、また熟議や講義のための場として活用します。

なお、水道光熱費は自己負担となっています。

### 3. 長期履修制度

官公庁・企業等に在職している者（給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く。）及び自ら事業を行っている者などフルタイムの有職者で、計画的に長期履修が可能な者は、入学決定後に、長期履修を申請できます。審査を経て長期履修学生として履修を許可された場合、修業年限を10年とします。制度の詳細については、教務掛にお尋ねください。

平成 30 (2018) 年度  
京都大学大学院 総合生存学館 (思修館)  
(学内特別選抜)  
博士課程 [5 年一貫制] 学生募集要項

本学館に置く課程は、大学院設置基準第 4 条第 3 項にいう前期 2 年及び後期 3 年の課程に区分しない博士課程で、その標準修業年限は 5 年です。

本学館では、本学の学部 4 年生 (医学部と薬学部は 6 年生も可) 又は大学院生を対象に、書類審査及び口頭試問による学内特別選抜試験を実施します。

学生募集は 4 月入学のみ実施しています。10 月入学の制度はありません。

1 募集人員

専攻	募集人員	備考
総合生存学専攻	若干名	

2 出願資格

次の各号すべてに該当する者

- (1) 本学に在籍する学部生で、平成 30 年 3 月に卒業見込みの者または本学の各研究科に在籍する大学院生 (修士課程、博士課程、博士後期課程)
- (2) 本学館に在籍する教員と面談のうえ、研究テーマ・研究計画を打ち合わせて、本学館での研究指導により、標準修業年限 (5 年) で博士学位を取得できる見込みのある者

3 出願手続

**【お知らせ】**

平成 30 年度入学試験 (平成 29 年度実施) より、Web 出願を開始します。Web 出願における具体的な出願手順や入学検定料納入方法等につきましては、おって本学館ホームページ (<https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/>) にてお知らせします。

[1. 入学検定料等の納入期間]

平成 29 年 10 月 12 日 (木) から平成 29 年 10 月 26 日 (木) まで

この期間中に、インターネット出願の登録と入学検定料の納入を済ませていなければなりません。

出願書類①~⑨ (⑧、⑨は該当者のみ) 受理期間は上記期間と異なりますのでご注意ください。(平成 29 年 10 月 23 日 (月) から平成 29 年 10 月 26 日 (木) 午後 5 時まで (必着))

入学検定料 30,000 円 【国費留学生は不要】

※入学検定料の返還について

次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しません。

(i) 誤って二重に納入した場合

(ii) 入学検定料納付後、出願しなかった場合及び出願を受理できなかった場合

上記 (i)、(ii) の場合は、後日手続きにより全額返還します。

東日本大震災又は熊本地震により被災した方で、罹災証明書を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがありますので、平成 29 (2017) 年 10 月 6 日 (金) までに本学館事務部教務掛へお問い合わせください。

〔2. 出願書類 (注1) (注2)〕

①志願票・写真票	インターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷してください。
②カラー写真 2 枚 (縦 4 cm×横 3 cm) ※同一の写真であること。	1 枚は上記①写真票に貼り付けてください。 もう 1 枚は、追って大学から送付する受験票に貼り付けるために必要です。 上半身脱帽正面向きで出願前 3 か月以内に単身で撮影したものを貼り付けてください。 写真の裏面に氏名を記入してください。
③学部の成績証明書及び卒業(見込)証明書	学部長が作成し、厳封したもの。 証明書の氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合は、氏名が変更されたことが確認できる公的証明書 (3 ヶ月以内発行日付) を添付してください。 大学に編入した者は、編入前の大学等の成績証明書も提出してください。 大学院に在籍している者は大学院の在学証明書も提出してください。
④指導教員からの推薦書 (1 通)	指導教員からの推薦書の様式は任意です。(厳封すること。) 推薦書を提出できない場合は、受験者の所属する学部あるいは大学院の教員 (教授または准教授) で意見を伺うことができる人の氏名及び連絡先を所定の用紙に記入したものを提出してください。用紙は本学館ホームページ ( <a href="https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/application-guidelines-gakunai">https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/application-guidelines-gakunai</a> ) からダウンロードしてください。(A4 用紙)

⑤英語のスコア (原本)	<p>平成 26 (2014) 年 10 月以降に受験した次の(1)から(6)のいずれかの試験のスコア原本。</p> <p>(1) TOEFL-iBT の Examinee Score Report <u>ETS から大学に直送される公式成績報告書 (Official Score Report) は利用できません。</u></p> <p>(2) TOEFL-ITP</p> <p>(3) IELTS の Test Report Form アカデミック・モジュールテストのみ認めます。</p> <p>(4) TOEIC</p> <p>(5) 実用英語技能検定</p> <p>(6) 国際連合公用語英語検定試験</p> <p>出願時にスコア原本の提出が間に合わない場合には、仮の出願として受理しますので、入学試験実施日(平成 29 (2017) 年 11 月 25 日(土))の試験開始前に上記スコアの原本を持参してください。英語のスコアを提出しない場合は、出願書類不備として受験資格を失います。したがって、発送済みの受験票は失効し、受験することはできません。また、入学検定料は返還しません。(14 ページ 5 選抜方法を参照のこと)</p> <p>上記の試験の試験日からスコアの原本が送付されるまでの期間を見込み、出願者は余裕をもって試験を申し込んでください。</p> <p>スコアを 2 つ以上提出することはできません。</p> <p>英語を母語あるいは教育言語とする者であっても、英語のスコアが必要です。</p> <p>英語のスコアは下記を標準としますが、これら以下の点数であっても出願は可能です。</p> <p>(1) TOEFL-iBT : 80 点</p> <p>(2) TOEFL-ITP : 550 点</p> <p>(3) IELTS : オーバーオール・バンド・スコア 6.0</p> <p>(4) TOEIC : 740</p> <p>(5) 実用英語技能検定 : 準 1 級</p> <p>(6) 国際連合公用語英語検定試験 : B 級</p>
⑥小論文	<p>必ず所定用紙を用いて、次の (1) ~ (2) について記載してください。なお、日本語又は英語で記載してください。また、所定用紙には事前に面談した本学館に在籍する教員 1 名の署名が必要です。</p> <p>用紙は本学館ホームページ (<a href="https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/application-guidelines-gakunai">https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/application-guidelines-gakunai</a>) からダウンロードしてください。(A4 用紙・両面印刷)</p> <p>また、ワープロ等で作成する場合は、所定用紙の枠内に印刷するか、印刷したものをはがれないように貼り付けてください。別紙の添付は不可。</p>

	(1) 本学館への志望理由, 目指すグローバルリーダー像, 修了後の進路についてのビジョン (2) 本学館で研究しようとする専門分野の研究テーマと研究計画 ( (1)と(2)のそれぞれについて、A4 1枚 日本語 1,500字程度、英語で記載の場合は 600words 程度)
⑦受験票送付用切手台紙	インターネット出願システムから印刷した所定の台紙に、372円分の切手を貼ってください。
⑧下記のうちいずれか1点 ・住民票の写し ・外国人登録証明書(カード) (両面) の写し ・在留カード(両面) の写し	日本に在住する外国人のみ。市区町村長の発行するもの(在留カードについては地方入国管理官署の発行したもの)。 ただし、法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。
⑨国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生は、提出してください。

注1：出願書類に不備があるもの及び出願書類受付日後に郵送された願書は受理しません。

出願後は、原則として書類に記入した事項の変更は認めません。

注2：出願書類の直筆での記載を要するところは、必ず黒のボールペン又は万年筆で記載してください。

〔3. 出願書類(成績証明書等) 受理期間及び送付先〕

平成29(2017)年10月23日(月)から  
平成29(2017)年10月26日(木)午後5時まで。(必着)

提出書類到着をもって出願受理としますので注意してください。

成績証明書等の出願書類を取り揃え、インターネット出願システムの出願登録完了画面からダウンロードした宛名ラベルを市販の封筒(角2サイズ 240mm×332mm)の表面に貼り付け、書留速達郵便として発送してください。

直接持参しても、受理しません。ただし平成29(2017)年10月23日(月)以前の発信局消印がある書留速達郵便として、期限後に到着した場合でも受理します。

〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1 京都大学東一条館  
京都大学大学院総合生存学館 事務部教務掛

#### 4 受験票

受験票は受験番号を印字したものを送付します。試験実施日当日は、**受験票を必ず持参**

**してください。**

## 5 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査及び試験により行い、総合的に評価します。

(1) 書類審査【小論文、学部の成績、英語スコア】

(2) 試験【口頭試問】

ただし、口頭試問において「否」と判定された場合は、不合格となります。

なお、筆答試験（専門基礎科目）は免除となります。

試験実施年月日 時 間	試験科目	内 容
平成 29 (2017) 年 11 月 25 日 (土) 9 時 00 分～ (予定)	口頭試問	口頭試問は日本語で実施するが、必要に応じて英語又はその他の言語を使用することがある。

(3) 試験場：京都大学大学院総合生存学館（東一条館）

## 6 合格者発表

(1) 平成 29 (2017) 年 12 月 15 日 (金) 午後 3 時に京都大学大学院総合生存学館（東一条館玄関）に掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

また、合格者の受験番号を本学館ホームページ

(<http://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/admissions-info/>) に掲載します。

なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

## 7 入学料及び授業料

(1) 入学料 282,000 円

注：入学時に改定されることがあります。

(2) 前期分授業料 267,900 円 (年額 535,800 円)

注：入学時及び在学中に改定されることがあります。

納付時期等については合格者に通知します。

## 8 注意事項

(1) 障がい等があり受験上若しくは修学にあたって配慮を必要とする者は、協議しますので、平成 29 (2017) 年 10 月 6 日 (金) までに本学館事務部教務掛にお知らせください。なお、内容によっては対応に時間を要することもありますので、早い時期に申し出てください。事前に申請がないと配慮できない場合があります。

また、出願後に不慮の事故（交通事故、発病）により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかにお知らせください。なお、直前の申請や申請内容により、希望する配慮が行えない場合があります。

(2) 出願者には、受験票及び受験に関する注意事項を郵送します。なお、平成 29 (2017) 年 11 月 7 日 (火) を過ぎても受験票等が到着しない場合は本学館事務部教務掛へ問い合わせてください。

(3) 出願書類の内容に虚偽事項が発見された場合は、合格あるいは入学後であってもそれを取り消す場合がありますので注意してください。

## 9 個人情報の取扱いについて

(1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び

「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

- (2)出願書類に記載されている氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (3)入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法及び教育課程改善の検討資料作成のために利用します。
- (4)出願書類に記載されている個人情報は、入学者について、①教務関係（学籍管理、修学指導、教育課程の改善等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

#### 10 入学希望者の施設見学について

入学を希望される方で、研修施設等の見学を希望する場合は、見学希望日（平日の業務時間内）の 2 週間前までに事務部教務掛へ下記事項をメールにて申請してください。申請を許可する場合は、日時を調整し折り返し連絡します。

見学当日は、身分証明書（学生証、運転免許証、パスポート、在留カード等写真付きのもの）を持参してください。

（申込必要事項）

- ・ 見学希望日時（できれば複数の候補日時を挙げてください）
- ・ 所属
- ・ 氏名
- ・ 入学希望年度

（見学可能日時）

平日 10:00～17:00（12:00～13:00 を除く）

土曜日・日曜日・祝日、創立記念日（6月18日）、夏季一斉休業日（8月第3週目の月曜日～水曜日）、12月29日～1月3日は対応不可。その他、臨時に事務室を閉室することがあります。

#### 11 連絡先

〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1 京都大学東一条館

京都大学大学院総合生存学館(思修館) 事務部教務掛

TEL 075-762-2002

E-Mail gsais-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※業務時間は平日 8:30～17:15（12:00～13:00 を除く）です。

これらの時間以外、また、土曜日・日曜日・祝日、創立記念日（6月18日）、夏季一斉休業日（8月第3週目の月曜日～水曜日）、12月29日～1月3日は事務室が閉室しているため、対応できません。

平成 29（2017）年 6 月